



富原亮道議会議長(当時)



鈴木直道知事



阿部国雄水産会代表理事
会会長



歓迎の言葉を述べる迫俊
哉小樽市長



小樽で「第1回 北海道豊かな海づくり大会」 海の恵みを守り育て、次世代へ



大漁旗を掲げて参加者を歓迎する漁船



大会旗をお披露目する鈴木知事と高校生たち



左から道条例づくりに尽力した小林雄志、千葉真裕、植村真美、佐藤禎洋の各道議

記念すべき第1回大会に全道各地から水産関係者が参集した

る道議、各地から集まった水産関係者ら約300人が出席した。

主催者あいさつした鈴木知事は「先人たちが守り続けた海の恵みに感謝し、北海道の豊かな海を守り育て、次の世代につなげなければならぬ」と語った。来賓の中村裕之衆議院議員も「小樽市選出の佐藤禎洋道議が条例改正検討会議の座長として役割を果たされた。この大会を契機に豊かな海を守っていくという機運が高まることを願っている」と述べた。

その後、小樽水産高校の生徒によるニホンザリガニ生息状況に関する研究発表、漁業者による「北海道豊かな海づくり宣言」が行われた。終了後、参加者らは隣接する築港臨海公園でニシンの稚魚を海に放流した。

イベント会場では水産加工品の販売や官公庁船の一般公開も行われ、延べ1万2000人以上が来場し、海づくりへの理解を深める絶好の機会となった。



ニシンの稚魚を放流する中村裕之衆議院議員(左)